

スクールフェスティバル 《後編》

前号では「良い文化祭」を作り上げようとしたら、10の学習者像とATLスキルの項目**全てが発揮される必要がある**こと、またそれは同時に、

子どもたちの10の学習者像とATLスキルが

高い水準にあればあるほど「良い文化祭」に成り、反対に

低い水準にあれば「残念な文化祭」になるということを示しているということを、演劇の活動内容を例に論じさせていただきました。（前号はこちら→ [鹿中IB通信NO.13](#)）

ATLSKILLS



10の学習者像



ということで行事成功の鍵は、《**学校で日頃からこの二つを狙って育もうとしているか否かが握っている**》ことは明白であるといえるのです。でも筋トレしかり、栄養バランスを考えた食事をするとしかり、**やった方がいいというのは頭で分かっているのだけど、なかなか継続して取組めなかつたりするというのが人間です**。日本の学習指導要領でも例えば「資質能力」というATLスキルと似たようなものが出されていますが、それらを意識的にカリキュラムに取り入れて活用ができている学校は全国でもごく少数であるというのが現状のようです。

本校ではこの2つを狙って育むことを目標に掲げ日夜努力をしています。そして組織として取組を継続できるような仕組みを作り実践を継続しています。まだやらされ感も否めませんが、これをなんとか続けて習慣にしていけば、いつの間にか先生方も子どもたちもツヤツヤなマッチョになっていることでしょう。それを信じてトレーナー（コーディネイター）奥平は働きかけを続けております。

ということで、今号ではその工夫のひとつ、本校のカリキュラム作りについて一部ご紹介したいと思います。



ユニットプランナー

これまでもお伝えしてきました通り、本校では「10の学習者像」と「ATLスキル」の伸長を核にしたカリキュラムをすべての教科で共通して作っています（もはや強制の域でお願いしています・・・）。各単元のどの場面でどのスキル、学習者像が発揮されるかまで、かなり具体的に計画をします。

こんな感じに・・・↓（ちょっと小難しい内容ですが、本校の先生方の苦勞の一端をご覧ください・・・）

これは社会のとある単元の単元計画(ユニットプランナー)からの抜粋です

学習のアプローチ (ATL)	
本単元で扱う ATL ①コミュニケーションスキル ②批判的思考スキル ③創造的思考スキル ④転移スキル	具体的な学習活動 生徒は探究テーマ解決に向けて以下の能力を身につけることができる。 ①質問や意見を述べる能力を向上させ、他者との対話を通じて情報を共有し、異なる視点を理解する。 チーム内での効果的なコラボレーションや協力を促進するためのコミュニケーションスキルを養う。 ②史料や資料を分析し、情報の信頼性や偏りを評価する能力を鍛える。 異なる説や立場からの情報を比較し、客観的な視点から問題を考える力を向上させる。 ③歴史的な事象や人物に対する新しい見解や解釈を生み出すための創造的な発想力を養う。 問題解決のために革新的なアイデアを生み出し、歴史的な文脈に創造的なアプローチを持つ能力を育成する。 ④歴史的な知識や分析スキルを他の学習領域や現実の問題に適用する能力を鍛える。 過去の出来事や人物の背景や要因を理解し、現代の社会や個人の状況に転用する能力を促進する。

単元の学習のどんな場面でどのスキルを鍛えられるのかが記載されています

探究を通じた指導と学習

内容	学習プロセス
"【学習内容】 1 ユニットの概要説明を受け、今後の見通しを立てる。	学習経験と指導方法 1 ユニットの今後の見通しを持つ。総括的評価課題、評価の観点を示す。 ・探究的な問いについて、現時点での自分の考えを整理する。 【概念的問い】どのように権力者は生まれるのか。

形成的評価課題

Formative assessment 形成的評価

3～6 探究テーマに必要な情報を収集・調査

7～11 各時代の権力者の変遷と時代背景の関係を調査

14～16 総括的評価課題に取り組む

→今後のリーダーとなる人の特徴のコメント作成。

【ATL：情報リテラシースキルに対する形成的評価】

←各スキルの成長が試される課題も設定されます。

7～11 各時代の権力者の変遷と時代背景の調査

【ATL：メディアリテラシースキルに対する形成的評価】

18 Unitの振り返り

【ATL：振り返りスキルに対する形成的評価】

14～16 総括的評価課題に取り組む

【ATL：批判的思考スキルに対する形成的評価】

差別化した指導

○生徒の個の実態に応じ学習課題を柔軟に変更しながら与える。また、思考・考察することが難しい生徒にはヒントとなる思考ツールを用意しておきその中から選択できるようにサポートを行う。

○探究的な学習がすぐに終了してしまった生徒には別の課題として、他の都市と村落で発生することは海外でも同様かそれとも異なるのかなど新しい課題を与える。探究を終えてさらに気になったことはないかなどと問いかけ自ら新しい探究課題を持たせ取り組ませる。

振り返り

単元開始前

古代から中世についての知識として主要な人物・出来事などは覚えている。

学習者像：探究する人

生徒の好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。学習者は12～13歳の男女、学習意欲は高いものの知識の定着を図ることが苦手なため学力に結び付いていない。探究的な学習を取り入れることで好奇心を育みながら知識の定着を図ることができる考える。

奉仕：権力者の形成のされ方を分析・考察することによって傾向を見出し現代の特色をとらえられるようにする。

コミュニティ&プロジェクトとのつながり：今回の探究テーマでは得た知識・分析結果を踏まえ権力者の形成のされ方社会背景など深く迫っていく。

学際的な関連：書写の第1学年○文字の成り立ちと移り変わり

国語の第1学年○「論語」「万葉集」清少納言「枕草子」「古今和歌集」

英語での町紹介

学習者像についてもその単元でどれを重点的に伸長するかを明確にします

←《他教科との繋がり》や《総合的な学習の時間》に学びがどのように活かされていくのかについても意識しています。

・これらを多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について他教科との関連も踏まえながら、授業を展開していく。

単元の指導中

先生方には今年度から、全学年、全ての単元でこのような単元計

画書（ユニットプランナーといいます）を新たに作成いただいています。

この産みの苦しみのたるや・・・先生方には本当に頭が下がります。

そして、子どもたちはこの半年間、このようにATLスキルや10の学習者像を狙って伸長させることを目指したカリキュラムの上で、努力して学びを進めてきてくれました。

そうした先生方と子どもたちの日頃の弛まぬ努力・学びの成果が目に見える形で表れるのが文化祭という行事（文化祭は総合的な学習の時間の一つ）だと私は今回改めて理解しました。

そして舞台を演じきったあとで委員長が舞台の裏で見せてくれた涙を始め、文化祭の様々な場面の子どもの姿から、子どもたちが日頃質の高い学びを進めてくれていることが見て取れました。

探究的な学びを通じた子どもたちの日頃の努力・学びの成果を最大限活かすという視点に立てば、行事全体の設計にはまだ工夫の余地はあります。（そうです、まだ伸びしろがあるのです）

次年度に向け、子どもたちの声を聞きつつ、職員全体で協議の上、より良い、感動するものを目指して進んでいきたいと思えます。

※ちなみに、今年の演劇メンバーたちはなんと！そのまま**第36回十勝中学校演劇発表大会（十勝子ども大会演劇発表の部）**に出場してくることになりました。

11月9日（土）清水町文化センター 大ホールにて、鹿中の公演は12時40分からです。よろしければ是非、更にパワーアップした彼らの勇姿をもう一度ご参観ください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



←前号につづき、文化祭を全力で楽しむ学校長です（素敵です）。

※現在本校生徒が取り組んでいる「Unit2」の総括的評価課題

総括的評価課題概要まとめ《3年生編》

教科	課題の概要（役割+状況・課題+成果物など）	重要概念
言語と文学 【国語】	あなたは約1,000年前の平安時代の人です。あなたは、京都で天皇を警護する重職に就いていましたが、職と家族を捨てて全国の旅に出ることを決意しました。一人で全国を巡る危険で、生きていくのが精一杯の旅です。旅をする過程で美しい情景や人々との交流が喜びや希望を与え、同時に過去を捨ててしまったあなたの悲哀が、現代の人々に届く和歌を作り、詠んでください。そして、現代の人々があなたの和歌に感動し、生きる喜びや人生に希望を持つようになります。（総括的評価課題：和歌の創作）	創造性
数学	がけ崩れに巻き込まれ、はるか下の方に転落してしまった救助者を助けなければいけません。しかし、近くには実測するための道具がなく、手元にあるのは石ころ（消しゴム）とストップウォッチのみ。 これらの物を利用して崖の下までの高さを本部に正確に報告しよう。	関係性
個人と社会 【社会】	あなたは日本の王様です。あなたが対象とするのは日本の国民たちです。あなたは日本国憲法の課題を「変化」を踏まえながら今のままで良いのか変えたほうが良いのかを考察し発表原稿の形で作り出してください。	変化
理科	自分たちの生活に欠かすことのできなくなった2次電池。現在はリチウムイオン電池が主力となっているが、研究開発は日々進んでいます。今回は、次世代を担うであろう電池についてその利点などを中心にプレゼンを作成します。（総括的評価課題：プレゼンテーション動画の作成）	変化
言語の習得 【英語】	あなたは様々な国の中学生たちが集まるサミットに北海道代表として参加する中学生です。サミットでは、様々なトピックについてお互いの考えや意見を述べ、より良いアイデアを生み出すことを目的としたディスカッションをします。代表として自分の意見を持つことはもちろんですが、お互いの主張を尊重し、建設的な議論を行うスキルが求められます。（総括的評価課題：実技テスト&ライティングテスト）	コミュニケーション
芸術 【音楽】	あなたは、とある音楽出版社のスタッフです。このたび、DVD制作部から「メトロポリタン・オペラの日本公演」を収録したDVDと日本の伝統芸能である歌舞伎の中高生向けの鑑賞用DVDを作製することになり、DVDのケースに使用するジャケット制作を依頼されました。DVDに収録する演目は企画会議の末ヴェルディ作曲の「アイーダ」と「勸進帳」に決まりました。2つの舞台芸術に触れながら様々な情報を含めたDVDジャケットを作成しなさい。	感性と変化
芸術 【美術】	あなたは鹿追町の若き芸術家です。鹿追中の窓を飾るスタンドグラスの制作を依頼されました。あなたが選ぶ「言葉」をテーマに、スタンドグラス作品を制作してください。（総括的評価課題：作品計画シート・作品）	美的感性
保体	パフォーマンスを向上させるために、チームの課題に沿った練習メニューが組むことができるか。	変化
デザイン 【家庭】	「自分史のまとめ」と「幼児とのふれあい体験」を通して、感じたこと、学んだことを伝えあい、学び合おう！	コミュニティ
デザイン 【技術】	領域D；これからSE部の一員として、プログラミング的思考力の発揮を求められます。最終課題までの計画を立て、アルゴリズムの条件分岐処理のmissionをクリアしましょう。ローバーロボットを衝突回避できるようにプログラミングできるでしょうか。（総括的評価課題；テクノロジーの進化は人間を見つめられているのか、技術をガバナンス）	システム

バックナンバー	概要
<p>鹿中 IB 通信 NO.1</p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か?について書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.2</p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.3</p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.4</p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.5</p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.6</p>	<p>IB 教育の大きな柱であるATL スキルと 10 の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。</p>

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></p>	<p>子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></p>	<p>「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></p>	<p>「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,12</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,13</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》</p>